

サステナビリティ経営方針

2025年9月

株式会社関勝商会

代表取締役 関 肇

サステナビリティ経営方針

世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。また、近年、SDGsへの関心の高まり等、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

当社事業の意義

当社は、住宅および店舗向けに電気設備機器の販売と設置工事を実施しています。最新の技術と高品質な製品を提供することで、お客様のニーズに応え、エネルギー効率の向上や環境負荷の低減に寄与しています。さらに、信頼性の高いサービスを通じて、お客様との長期的な関係を築き、地域社会の発展にも貢献しています。今後も、人とのつながりを大切にし、持続可能な社会の実現に向けて努力してまいります。

今回の検討結果

持続可能な成長を達成するためには、人材育成や社員の健康維持・増進が重要であると認識しています。また、企業として引き続きカーボンニュートラル実現に向けた環境負荷低減にも取り組むことが不可欠です。

そのため、以下の3つの重要課題(マテリアリティ)に焦点を当て、取り組みを充実・強化してまいります。



人材育成



健康経営の推進



環境負荷低減

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

人材育成

選定理由

人材育成への取り組みを強化することは、業務の高度化や業容の拡大が期待できることから、マテリアリティとして選定。

アクションプラン

経験豊富な社員による実践指導を通じて、知識と技能の向上に取り組むことで資格取得者の数を増加させる。

取組効果

- ・技術力の向上
- ・安全性の向上
- ・新しいビジネスチャンスの創出
- ・組織体制の強化



KPI(目標と指標)

2030年まで電気工事士の資格者を2名増やす
(2025年現在1名)

マテリアリティ

健康経営の推進

選定理由

社員の健康を維持することは、事業の継続に資する取り組みであり、社員のモチベーション向上や労働災害の防止が期待されことからマテリアリティとして選定。

アクションプラン

健康診断結果のフォローアップを行うとともに、健康づくりに関する情報発信を行う。

取組効果

- ・社員の健康維持
- ・社員のモチベーションの向上
- ・生産性の向上
- ・労働災害の防止



KPI(目標と指標)

2028年までに「いばらき健康経営推進事業所」の認定を取得する

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

環境負荷低減

選定理由

環境負荷低減に取り組むことは、カーボンニュートラル実現に寄与し、持続可能な社会の形成に重要であることから、マテリアリティとして選定。

アクションプラン

GHGプロトコルに基づき、自社の温室効果ガスの排出源を把握し、排出量を算定する。

取組効果

- ・カーボンニュートラル実現への貢献
- ・ステークホルダーの信頼維持
- ・サプライチェーンの維持



KPI(目標と指標)

2030年まで温室効果ガス排出量を把握する

